

問題を前にして、あなたはどうしましたか

二十一日に出題した問題の解答は次の通りです。

- ① 2_レ1
- ② 3_二1_二2_一
- ③ 1_二2_二3_二5_レ4
- ④ 1_二2_二5_レ4_レ3
- ⑤ 1_二2_二5_二3_二4_一
- ⑥ 1_二2_二3_二7_二4_二5_二6_一
- ⑦ 1_二2_二3_二5_レ4_レ、9_二6_二7_二8_一
- ⑧ 1_二3_レ2_二4_二5_二7_レ6_レ、11_二8_二9_二10_一、12
- ⑨ 2_レ1_二3_二5_レ4_レ、9_二6_二8_レ7_レ10
- ⑩ 6_下1_二4_二2_二3_一5_上

いかがでしたか。全部合っていないなくても落ち込む必要はありません。一見すると難しそうに見えますが、慣れてしまえばできるようになりますから。大切なのは慣れるまでやることですよね。慣れるまでやるかどうか、大切な力なのです。

もう一つ大切な力に、「探求心」があると思います。「心」という字が付いています。それは紛れもなく力の一つだと私は考えています。

五月二十一日に出題しましたが、あなたはどのように取り組みましたか。出題された問題を見て、にらめっこするだけでしたか。できない問題について教えてもらえるのを待っていましたか。それとも、教科書や資料集を取り出して、自分なりに「し点」や「一、二点」をより確かに理解しようと思いましたか。解答しっぱなしではなく、「教科書を見よ」とあるから、何とか手がかりを探そうとしましたか。わからないことやできないことをはっきりさせることも大事ですが、それ以上に大切なのは、わかるために、今の自分ができる努力をすることです。

「質問タイム」にも、「わからなかったので教えてください」ではなく、「このように考えて、ここまではなんとか解けたのですが……」などと、努力の後をつけて質問をもってくると、理解が早まるし、確かになると思いますよ。

(五月二十二日分)